

## 第 14 回 途上国の環境問題を見て考える全国学生ツアー(平成 24 年度募集)の御案内

(主催: 土木学会環境工学委員会・海外環境教育に関する小委員会)

目的と実施概要: 本ツアーは学部学生・院生・教員等を主対象として海外(途上国)の環境問題の現場を視察し、現地の大学の研究者や学生および国際協力に係る政府機関との学術研究交流や意見交換および国際交流を行うことを目的としています。14 回目を迎える今回は観光などの開発により大きく変貌したバリ島を見学します。伝統的な生活スタイルの村と開発が進んだ地域を見学することで、バリ島の知られざる側面に光を当てて環境問題を考えます。また、沿岸域の環境(マングローブ、珊瑚礁)にも注目し、実際に保全活動にも参加していただきます。現地ツアー資料や講義、学生交流会は英語で行われます。

担当: 山本浩一(山口大学大学院理工学研究科・環境共生系専攻・准教授)

協力: ウダヤナ(Udayana)大学, シキバリエコプロジェクト(Siki Bali Eco Project), 山口大学

日時: 2013 年 3 月 5 日~10 日(6 日間)

開催地: バリ島(インドネシア)

定員: 25 名(原則申し込み先着順)

対象: 全国の高専生, 大学生, 大学院生, 教職員, 研究所員, 他

参加費: 6 万円※

内訳: 現地宿泊費, 現地交通費, 食事代(但し夕食時の追加飲料は実費精算), 海洋ボランティア参加費用, エコビレッジステイ料金

※旅行傷害保険, 航空券, アライバルビザ, 空港使用料, シュノーケリング器具レンタル費用(100,000IDR)は含んでいません。

航空運賃参考: エアアジア 4 万円(関空~バリ), シンガポール航空 7.4 万円(羽田~バリ)

アライバルビザ 25 米ドル, 空港使用料 150,000IDR (1 円=110IDR 程度)

### 参加条件

- 1) パスポートの有効期限が半年以上残っていること。
- 2) 海外旅行に参加するにあたって心身ともに健康な状態にあること。
- 3) 海外旅行障害保険への加入(出国から帰国まで)をすること。
- 4) 事前の学習と自己紹介の英語版パワーポイントの作成を行うこと。
- 5) 英語の事後報告書の作成を行うこと(3 月末までに提出)。

## 日程表

日程	内容
3月5日(火)	13:30 デンパサール空港(バリ)集合 ウダヤナ大学交流会(講義): バリの環境問題(アーサナ教授), 両国学生の交流, 懇親会, デンパ サール泊 協力:ウダヤナ大学
3月6日(水)	デンパサール市内の沿岸環境保全施設および都市環境問題見学 (JICA マングローブセンター, 埋め立て処分場, バドゥン川の汚染), デンパサール泊 協力:ウダヤナ大学
3月7日(木)	郊外の自然環境見学(ウンダ川, キンタマーニ高原, バトゥール湖, バ トゥール山), デンパサール泊 協力:ウダヤナ大学,
3月8日(金)	海岸の環境問題見学およびボランティア活動(ビーチでシュノーケリ ング/サンゴの移植活動, アメッド海岸) , デンパサール泊 協力:シキバリエコプロジェクト
3月9日(土)	エコビレッジステイ(石鹸作り体験, ジンジャーパウダー作り体験, 竹 炭作り体験, 昼食(バリニーズスタイル), 村のトレッキング(カパール 村), ケチャ・ダンス見学 協力:シキバリエコプロジェクト, デンパサール泊
3月10日(日)	現地解散

### ツアー申し込み要領

申込締め切り: 2013年1月14日(月)

申込方法: 氏名, 所属, 連絡先(Tel/Fax, E-mail アドレス等)をご記入の上, 下記宛てメールもしくは Fax でお申し込みください.

申し込み先: [k.yama@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:k.yama@yamaguchi-u.ac.jp) TEL/FAX 0836-85-9320 (山本浩一)

**ご注意:本ツアーは現地集合, 現地解散のツアーです. 現地への航空機は各自で手配をお願いいたします. な  
お, シンガポール航空 SQ 942 (1205 着)に搭乗していただければ, 集合時刻に間に合います. 航空機の遅延な  
どで集合時刻に間に合わなかった場合は, 各自で宿泊先のホテルに移動して頂きます. プログラム終了後の現  
地滞在について, 3月12日はNyepi (ニュピ)祭のため, 国際線を含む全ての交通機関は利用できないことに注  
意してください.**